



6月定例会

第187号

令和5年8月1日

# 議会だより

## 目次

|             |       |
|-------------|-------|
| 一般議案審議      | 2～3   |
| 第1回臨時会      | 4     |
| 町政そこが聞きたい   | 5     |
| 一般質問        | 6～9   |
| 議員研修        | 10～11 |
| 議員4年間の目標・抱負 | 12～13 |
| 寄稿          | 14    |



毎年、7月上旬頃、標津海岸線に満開に咲く「ハマナス」(浜茶志骨)

私の好きな標津町の風景

## ～ 町の花「ハマナス」満開 ～

砂浜に群生するハマナスの美しい紅紫色の花が、澄んだ青い海によく映えます。

写真は、福澤英雄さん(南6西4)提供

◎「私の好きな標津町の風景」をテーマに、町民の皆様から表紙写真を募集中。

次回は11月号、9月20日まで議会事務局(TEL85-7249)まで。

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

# 一般議案審議 《報告》

令和5年第2回定例会(6月20日)

◆6月20日開会の第2回定例会において、任命同意11件、条例制定3件、補正予算19件、意見書4件等の同意及び議案を審議し、全会一致で承認されました。

その概要を報告します。

## 教育長・山崎氏の任命を同意

任期(令和5年7月31日)を迎える標津町教育委員会教育長に、現教育長の山崎佳氏(南3西1・57歳)が、全会一致で同意され、任命されました。

山崎氏は3期目。任期は令和5年8月1日～令和8年7月31日まで(3カ年)。



## 同意案件

### 標津町農業委員会委員の任命

《任期》

令和5年7月20日  
～令和8年7月19日

かげ やま たか お  
**蔭山 隆夫** 氏(64歳)  
字川北1585番地6

わた なべ ひで のり  
**渡部 英徳** 氏(47歳)  
字川北2449番地

かや はら かず や  
**茅原 一也** 氏(58歳)  
字茶志骨720番地2

こ いわ おさむ  
**小岩 治** 氏(52歳)  
字茶志骨664番地5

た なか よう いち  
**田中 陽一** 氏(65歳)  
字川北1323番地1

はやし せい いち  
**林 誠一** 氏(59歳)  
字川北北2線西26番地3

さ とう かず ひろ  
**佐藤 和博** 氏(64歳)  
字古多糠749番地2

ふく ち とも ひろ  
**福地 智宏** 氏(48歳)  
字川北2089番地2

こ ばやし かず ゆき  
**小林 一之** 氏(56歳)  
字古多糠北4線6番地8

ちゅうじょう けい いち  
**中條 啓一** 氏(70歳)  
字古多糠528番地2

### 【農業委員の役割】

◆農地の貸借・売買・農地転用許可等に関して、総会において審議・判断を行う。

## 議案

### 《条例制定》

- 標津町介護保険条例の一部を改正
- 標津町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正
- 標津町家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

### 《その他》

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定
- 標津町過疎地域持続的発展市町村の変更
- 財産の取得(一般廃棄物収集車両の更新)

# 主 な 補 正 予 算

〈一般会計〉

(単位:千円)

| 項 目                      | 金 額   | 内 容                                                                                         |
|--------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 民営サテライトオフィス等設置支援         | 19000 | 民間企業が開業するサテライトオフィス等の機能を備えた施設整備及びP R等経費助成。内、国補助9500千円。                                       |
| 価格高騰緊急支援給付金              | 17867 | 町民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円支給ほか、所要の事務費計上。支給額580件×30000円＝17400千円                                  |
| 古多糠寿の家修繕                 | 2167  | 施設のバリアフリー化改修経費の追加（玄関スロープ設置、玄関・トイレ段差解消）                                                      |
| 子育て世帯生活支援特別給付金給付（その他世帯分） | 2371  | 町民税非課税世帯の子育て世帯等（児童扶養手当受給者除く）に対して、子ども1人当たり一律5万円を支給するほか、所要の事務費計上。支給額46人×50000円＝2300千円。全額、国補助。 |
| サーモンパーク対策                | 1812  | 落雷によるサーモン科学館の非常用放送設備及びポンプ制御盤の故障に伴う修繕料                                                       |
| 町道整備（町単独事業）              | 4700  | 使用部材価格高騰による古多糠基線改良舗装工事費の増額                                                                  |
| 公営住宅整備                   | 2156  | 建設価格・労務単価の高騰による桜木団地建替工事費の増額                                                                 |
| 恵盟寮管理運営費                 | 900   | ボイラー給湯器の故障に伴う更新                                                                             |
| 標津中学校暖房用ボイラー更新           | 875   | ボイラー本体や資材等の価格高騰による工事請負費の増額                                                                  |

〈国民健康保険特別会計（病院事業）〉

(単位:千円)

| 項 目        | 金 額   | 内 容             |
|------------|-------|-----------------|
| 一般X線撮影装置更新 | 11550 | 耐用年数経過による同機器の更新 |

意見書

○ 地方財政の充実・強化に関する意見書

○ 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

○ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

○ 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保証する高校教育を求める意見書

提出者  
畑中 浩 議員

5月10日に開催された第1回臨時会（改選後初議会）において、議長・副議長の選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員及び広報特別委員会委員の選任を行い、町長提案の監査委員の選任に同意しました。

また、根室北部衛生組合議会議員・根室北部消防事務組合議会議員・中標津町外2町葬斎組合議会議員・根室北部廃棄物処理広域連合議会議員の選出を行いました。

# 第1回 臨時会 5月10日

◆第1回臨時会において、選挙・選任及び選出の結果、次の通りとなりました。

**議長 小川 悠治**  
**副議長 吉田 智**



議長 小川 悠治



副議長 吉田 智

## 委員会の所属

### 総務経済常任委員会



山崎委員長



畑中副委員長

〈委員定数〉6名

〈任期〉令和5年5月10日～令和7年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 山崎 陸郎  
副委員長 畑中 浩  
委員 吉田 智

※「」の委員は複数所属

西山 易男  
〔藤本 南 憲治 靖〕

### 文教福祉建設常任委員会



藤本委員長



山崎副委員長

〈委員定数〉6名  
〈任期〉令和5年5月10日～令和7年4月30日  
〈委員会構成〉

委員長 藤本 靖  
副委員長 山崎 英司  
委員 石橋 昌幸  
// 〔畑中 浩〕 〔西山 易男〕

※「」の委員は複数所属

### 議会運営委員会



石橋委員長



山崎副委員長

〈委員定数〉5名

〈任期〉令和5年5月10日～令和7年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 石橋 昌幸  
副委員長 山崎 英司  
委員 吉田 智

藤本 靖 山崎 陸郎

### 広報特別委員会



畑中委員長



藤本副委員長

〈委員定数〉4名

〈任期〉令和5年5月10日～令和9年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 畑中 浩  
副委員長 藤本 靖  
委員 吉田 智

西山 易男

### 議会選任監査委員

〈任期〉

令和5年5月10日～  
令和9年4月30日  
山崎 英司

### 各組合議会及び 広域連合議会

#### 議員の選出

◎根室北部衛生組合議会議員  
小川悠治・吉田 智

藤本 靖・山崎英司

◎根室北部消防事務組合議会議員  
小川悠治・吉田 智

山崎陸郎・畑中 浩

◎中標津町外2町葬斎組合議会議員  
小川悠治・吉田 智

藤本 靖・山崎英司

◎根室北部廃棄物処理広域連合議会議員  
小川悠治・吉田 智

藤本 靖・山崎英司

## 一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。  
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

# 町政のそこが聞きたい

令和5年第2回定例会(6月20日)で4議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

▼質問席に立つ4議員▼

### 6 頁

石橋 昌幸 議員

- 町民にとって安全・安心な津波対策を！
- 新型コロナウイルス感染症  
【5類】移行への心構えを問う！



### 7 頁

数間 景子 議員

- 町内郡部における  
ゴミの不法投棄  
防止対策を質す！



不法投棄を注意喚起する幟(のぼり)



### 8 頁

吉田 智 議員

- 10年目を迎えた

【人口減少時代に挑戦する

『政策パッケージ』】

検証・見直しで更なる挑戦を！



|         | 住基人口<br>① | 国の推計値<br>② | 差<br>①-② |
|---------|-----------|------------|----------|
| H29.12末 | 5,378人    | 5,242人     | 136人     |
| H30.12末 | 5,345人    | 5,164人     | 181人     |
| R1.12末  | 5,238人    | 5,086人     | 152人     |
| R2.12末  | 5,124人    | 5,008人     | 116人     |
| R3.12末  | 5,055人    | 4,929人     | 126人     |

【標津町】人口推移と推計値の比較



### 9 頁

藤本 靖 議員

- 国道272号線【標津⇄中標津間】

高規格化の早期実現を！

- 『標津町IT推進室(仮称)』の設置を！



町民にとって安全・  
安心な津波対策を！



石橋 昌幸 議員

**問** 今後、発生が危惧されている千島海構沖地震において、標津町も避難対策特別強化地域に指定されている。

国や北海道から指定されているのは39市町村。

この39市町村のうち7市町は、津波対策計画を策定済み。しかし本町においては、計画作成の予定が無い、または未定として報道されている。

以前にも質問している通り5メートルの津波が来襲するとされているが、市街地に避難所、または避難場所



標津小学校・標津中学校合同避難訓練(R4.9.15)の様子

(避難タワー等)を設定(建設)する事が町民にとって安全で安心できる津波対策ではないか？

**答** 当町における千島海構沖地震の大津波想定は、初期の平成20年に公表されたものと最

新のものを比較すると大きな差が無い事が報告されている。当町において市街地は、望が丘森林公園等に避難をして頂くと言うのが何よりも重要と考えており、津波到達時間を考慮し、情報伝達方法を検討し、ソフト面からの対策を優先して対応を進めてきている所である。

このことから当町においては、津波避難タワーや津波避難ビル等の施設は、必要性が低いと考えており、現時点での事業計画が未策定となっている。なお、標津市街の中でも緊急避難場所まで比較的距離が遠い地区においては、設備の必要性を含め検討を進めて行くこととしているところであるが、ご指摘の津波避難対策緊急計画に整備内容を盛り込み、具体的な計画を進めれるよ

うに検討し、財政支援を受け整備をしていく方向を検討を進めていきたいと考えている。

町民の皆さんの命を守るための避難施設や避難経路、備蓄防災教育、情報伝達訓練等、優先順位をつけて効果的に政策を進めて行きたいと考えているので、ご理解をお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症

【第5類】移行への  
心構えを問う！

**問** コロナ感染症との闘いも3年半となる。5月8日からコロナウィルスもインフルエンザと同様の5類の位置付けとされ、北海道でも大きく舵をきり、対応の切り替え指示が出された。

しかしながらサービス業の一部では、接客の際のマスク着用が行われている。

役場での住民対応、

特に窓口業務におけるマスク着用義務の有無等、新型コロナウイルス感染症の5類移行への心構えを問う。

**答** コロナ5類移行に伴う役場窓口の対応としては、職員がコロナに罹患した場合の感染拡大防止と業務の継続性を確保するために執務時間中、役場内においては職員の「マスク着用を奨励する」としたところである。

5月8日に5類に移行され、政府としては医療機関、高齢者施設等を訪問するとき、またコロナの症状があり外出する場合には、マスクの着用を推奨している。

標津町としては基本的にマスクの着脱は、個人の判断に委ねる事となっているが、業務遂行上、感染予防に万全を期して望んでいるところである。

## 町内郡部における

# ゴミの不法投棄防止対策を質す！



**問** 5月7日、3年振りに「春の一斉清掃」が行われ、市街地はスッキリと綺麗になった。3年振りの割には、ゴミは少なく感じられた。

しかし郡部においては、道路脇の側溝等に、レジ袋に入ったゴミから電化製品、町外から持ち込まれたと見られるゴミが至る所で見受けられる。特に晩秋の積雪間近になった頃は、夏場の2〜3倍にゴミ



数間 景子 議員

が増える所もある。

ここまで至る要因はゴミ・廃家電・粗大ゴミの排出に金銭的負担が伴う事等が考えられ



～町内郡部における不法投棄の現状(レジ袋ゴミから家電品まで)～

るが、何らかの対策を講じなければ、環境問題として深刻になる。

郡部の不法投棄に対しての、これまでの対応を伺いたい。

これは、個人・事業者のボランティア活動で処理できるものではないので、一斉清掃並に、多人数で清掃する事を定例化すべき。

事前調査も含め、対策も十分考慮して、積雪前に実践してはいいかがか。

町長の考え方を質す。



不法投棄を注意喚起する幟

◆不法投棄の現状と対応に関して、住民生活課境課長が答弁

**答 境課長** ご指摘の通り、車から道路側溝へのポイ捨てされたゴミが、散見される。特に、交通量の多い路線沿いパーキングエリア等にゴミが目立つ。又、家電製品や家具・タイヤ等の粗大ゴミは、車で入り易く目立たない場所に捨てられているケースが多く、他地域の事業者による不法投棄が確認されたものもある。

道路沿いの粗大ゴミ等の不法投棄ゴミは、国道は開発建設部、道道は建設管理部、町道は町において、それぞれの道路管理者がパトロールを行い、発見した粗大ゴミ等は連携して回収している他、町においては、役場内の

各部署や地域住民等の情報提供を受けて、その都度回収している。ゴミや空き缶、ペット類等のゴミは、融雪後の春先に主要道路を中心に回収しているが、国道・道道・町道の総延長が450km超に及び、全路線への対応は困難な状況。

郡部の酪農集落においては、毎年農業関係者が中心となり、総延長30〜40kmの道路沿いのゴミ処理を実践している。

◆数間議員の提案に対して町長が答弁

**答 町長** ご提案に関しては、現在の取り組みと連携して実践する余地がある。大切なのは「ゴミを捨てないココロ」の育成であり、パトロールを強化し、注意喚起を促し、環境保全に取り組んで行く。

★【廃棄物の不法投棄の罰則】 廃棄物を不法に捨てた者(個人)は、5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】

## ◆10年目を迎えた

# 「人口減少時代に挑戦する『政策パッケージ』」 検証・見直しで更なる挑戦を！



吉田 智 議員

★吉田議員は全26頁の参考資料を添付し、『政策パッケージ』の検証を行い、6項目の提言をし、山口町長の公約実現を求めた。

## 『政策パッケージ』

は10年目を迎えており、更なる挑戦に向けて、検証・見直しをすべき。以下6点を提言し、町長の公約である町民の笑顔が輝くまちづくりを実現して頂きたい。

## 【提言】

- ①早期結婚の促進
- ②新婚世帯の第二子出産の促進
- ③新築住宅の基本助成金の上乗せ
- ④新築住宅の町内事業者請負助成金の上乗せ
- ⑤「高齢者の「足」確保」の迅速な解決
- ⑥お試し住宅・移住者住宅の整備

## 答 10年目を迎えた

事より、年度頭初より、事業の見直しを行い、再構築を図る事を指示しており、財政の健全化とバランスを取り、私の公約実現に取り組んで行きたい。

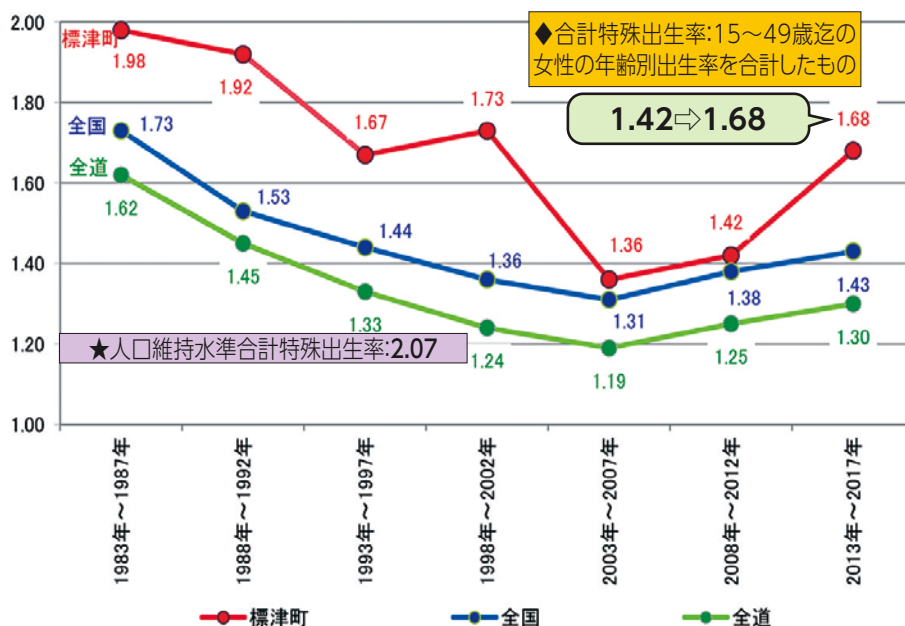
## 問

「人口減少時代に挑戦する『政策パッケージ』」は、平成26年4月よりスタートし、この10年の間、管内1市4町の中において唯一※社人研の推計値を下回る人口減を維持し、合計特殊出生率を1・42→1・68と向上して来た。・・・

## 参考資料1

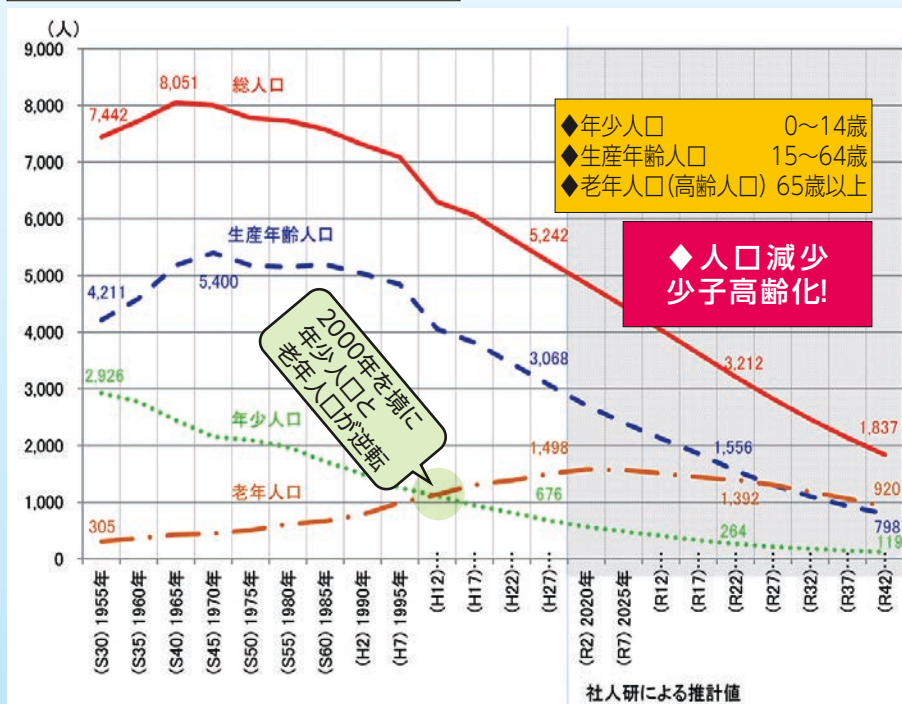
## 合計特殊出生率の推移

## 参考資料1



## 標津町の人口動向

## 参考資料2



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所の略称



藤本 靖 議員

国道272号線  
【標津⇄中標津間】  
高規格化の早期実現を！

**問** 標津～釧路間の国道272号線は、1994年12月16日に国道から高規格道路計画路線に格上げとなった。それから30年が経過しようとしているが、高規格化されている区間は、限られているのが現状となっている。

この区間の中で本来、一番先に工事が開始されるべき標津～中標津間の工事が遅々として進捗が見られない状況にあると思われる。計画路線への陳情は、当時の小田桐標津町長が先頭となり「命を守る



国道272号線(町道川北茶志骨線との交差点付近)の様相

道路」として関係各所へ働き掛けを行い実現したものである。今はドクターヘリでの急患の搬送がなされているが、夜間、荒天時には救急車で中標津、釧路への搬送をしている。

例年7月には根室地域総合開発期成会、釧根トライアングル計画と言った陳情があるが、交通量が非常に多い標津～中標津間の早期工事着工を中標津町長とともに働き掛けをお願いするところである。

**答** 国道272号線の整備促進のお願い

は、根室中標津道路整備促進期成会等において、要請活動を繰り返し行ってきたところである。中でも標津～中標津間の早期整備に付いては、非常に重要であり必要であると考えている。

高規格道路化により町民の暮らしはもとより、農業、水産業、商業、観光等にも関りが大きく、また災害時にも支援体制の強化が見込めるものである。

令和5年度より上春別地区9.2kmの事業着手が決定しているが、高規格の事業化を進めてきた小田桐町政から変わることなく一層の要請活動を中標津町とも情報交換、連携をとりながら進めて行きたいと思っている。

『標津町ーT推進室(仮称)』の設置を！

**問** 4月に実施された

標津町議会議員選挙の際に「役場の進めている事業が、わからない」「議会は何をやっているかわからない」と言う町民が多く居た。現在、これら情報の伝達方法は「広報しべつ」また「議会だより」を利用して伝えているのが実情である。

現在は、スマホを利用して色々な情報を得る事が出来る時代になっており、それらを利用して町長の生の声や事業内容を伝えていく時代だと考えている。

ただし、現在の様に一職員が知っている知識だけでは、これらのWEB発信をする事は難しく、専門的な知識を持つている職員を配置し情報発信を進めて行く時代であると考えている。議会改革も同様である。8年前と変わっていない紙の資料だけである。仮にーT推進室

があれば、これらの事が大きく変わっていくのではないかと所見を質す。

**答** 現状のデジタル化推進体制は、自治体DXの推進に伴い、昨年4月より、総務課に置いていた情報化・広報統計担当を改変し、デジタル化担当とした。現在の情報伝達手段は防災行政無線とツイッターにより情報発信をしているが、今年度より、携帯情報端末で標津町の情報が見られる専用アプリの開発に着手している。順調にいけば令和6年度には実施出来る予定となっている。

情報発信の重要性は、私も町民の皆さんとの対話の中で強く感じており、行政の役割の大切な部分であるので、いろいろな課題を解決しながら推進して行く。

# 研修会報告

全国町村議会議長会主催

令和5年度 町村議会議長・副議長研修会

5月23日 於:東京国際フォーラム

北海道町村議会議長会主催

令和5年度 北海道町村議会議員研修会

7月4日 於:札幌コンベンションセンター



挨拶中の南雲会長  
(新潟県湯沢町議会議長)

◆全国町村議会議長会主催の令和5年度町村議会議長・副議長研修会が、5月23日に、東京国際フォーラムのホールAにおいて挙行された。  
当議会より、小川悠治議長、吉田智副議長の両名が出席した。  
全道の町村議会より議長36名、副議長38名、事務局(随行員)12名の計86名、全国より、1800余名の出席者となった。  
全国町村議会議長会の南雲会長の挨拶後、下記3名の講師による基調講演を傾聴した。

## 講演1

午後1時5分～午後2時5分

### 「町村議会の課題と今後の展望について」

大正大学社会共生物学部教授

え 江 藤 俊 昭 氏

1956年東京都生まれ。鳥取県智頭町行政財政改革審議会議長、山梨県経済財政議会委員、第29次・第30次地方制度調査会委員(内閣府)、「町村議会のあり方に関する研究会」委員(総務省)等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「町村議会表彰審査会」委員、議会サポーター・アドバイザー(栗山町、芽室町、滝沢市、四日市市)、地方自治研究機構評議委員など。著書に『議員のなり手不足問題の深刻化を乗り越えて』(公人の友社)、『議会改革の第2ステージ-信頼される議会づくりへ』(ぎょうせい)、『自治体議会学』(ぎょうせい)等多数。現在『月刊ガバナンス』(ぎょうせい)に「自治体議会学のスミ」を連載中。



## 講演2

午後2時20分～午後3時20分

### 「町村こそデジタルを — 住民のためのデジタル活用法 —」

NPO法人ブロードバンドスクール協会理事

わか 宮 正 子 氏

1935年4月19日生まれ。高校卒業後、三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)に定年まで勤務。58歳からパソコンを独学で習得。2017年、ゲームアプリ「hinadan」を公開。これにより米国アップル社CEOよりWWDCに特別招待された。以後、数々の政府主催会議の構成員を務める。現在、NPO法人ブロードバンドスクール協会理事、一般社団法人メロウ倶楽部理事、熱中小学校教諭(一般社団法人熱中学園)、公益社団法人NEXTVISION理事、デジタル田園都市国家構想実現会議構成員、デジタル社会構想会議構成員、デジタル活用支援アドバイザーボード構成員。著書に『老いてこそデジタルを。』他。エクセルアートの創始者としても知られる。



## 講演3

午後3時35分～午後4時35分

### 「地方議会とハラスメント」

朝日新聞社コンテンツ編成本部次長

み しま あずさ 氏

東京都出身。2001年に国際基督教大学を卒業し、朝日新聞社に入社。山形と横浜で計5年間勤務し、東京本社社会部や地域報道部で教育やジェンダーなどの分野を中心に取材。2015年および19年の統一地方選挙に際しては、全国の都道府県と市区町村の計1788議会を対象にしたアンケート調査を担当し、女性議員が直面しがちな困難や議員なり手不足などについて取材。2017年、ジェンダーにまつわる発信をする朝日新聞のプロジェクト<DearGils>(現ThinkGender)を立ち上げ、多くの特集記事や連載に携わる。現在はコンテンツ編成本部次長として、朝日新聞のニュースサイト「朝日新聞デジタル」の編集を担当。





研修会場前にて小川議長と4委員



講演の様子

◆令和5年度北海道町村議会議員研修会が7月4日に札幌市の札幌コンベンションセンターで開催された。今回の議員研修は、標津町議会文教福祉建設常任委員会の委員4名と小川議長の計5名が参加した。

例年開催されるこの議員研修会は、色々な講師を招き時勢に沿った講演を、全道各地から参集した町村議会議員が傾聴するもので、根室管内からも4町の議会議員が参加した。研修会は2部構成となっており、第1部は五百旗頭真氏が「ウクライナ危機後の世界と日本」と題して、第2部は田崎史郎氏が「日本政治の舞台裏」と題して、それぞれ90分間の講演を行った。

## 第2部

政治ジャーナリスト

たぎさ しろう  
田崎 史郎 氏



### 「日本政治の舞台裏」

「日本政治の舞台裏」と題して政治ジャーナリストの田崎史郎氏が講演した。

長年に渡り時事通信社の記者として活躍し、その信念は「しっかりと情報のウラを取る」事であると自身の紹介の中で話していたことが頭に残る。噂や伝聞が簡単に飛び交うこの時代に、今一度しっかりと話を精査する事の必要性を話された。

また安倍晋三元総理と、なぜ懇意に出来たのかと言う裏話をされた。一度、総理大臣を辞職した安倍元総理には、辞職後、どの国会議員、マスコミ関係者も近寄らなかった。国会の最大派閥の代表でありながら、また総理大臣を経験しながら、この様相。その時に田崎氏が記者仲間と元総理とともに食事会を定期的に開催するようになった事から親交が深まり色々な情報が得られるようになった。

どの世界でも同じであるが、まずお互いを信用する事の大切さを改めて思い知らされた。

## 第1部

ひょうご震災記念21世紀研究機構

いおきべ まこと  
理事長 五百旗頭 真 氏



### 「ウクライナ危機後の世界と日本」

「ウクライナ危機後の世界と日本」の講師の五百旗頭真氏は、京都大学を卒業後、ハーバード大学やロンドン大学等の研究員、また防衛大学校校長を経て現在に至るまで様々な経歴をたどっている。

このことから世界的な視野が広く今回の講演に繋がっている。

第2次大戦後の国際秩序の(国連)の失敗やソビエト連邦崩壊後のロシアの失権、ウクライナ戦争の終結後に予想される中国が台頭する事による東南アジア情勢の不安定等、今後の考察されるであろう国際情勢について細かく状況を報告された。

国内においても不測の事態に備えた国内体制の構築が進みつつあることや、もしもの機会に備えた活動が、目に見えない形で進んでいる事など、通常、私達が聞くことのない事案を教えて頂いた。

# としての目標及び抱負を、全議員が記述回答～



小川 悠治 議員  
(6期目)

高齢者が住み続ける  
ことが出来る標津に

・高齢者の交通手段の  
確保を

・買い物手段の確保と  
充実を

病院(医療)が  
町づくりの基盤である

・病院は全ての福祉施  
設の要である

・暮らしの安心感と利  
便性が福祉を守り、  
産業をも守る基盤に  
なる

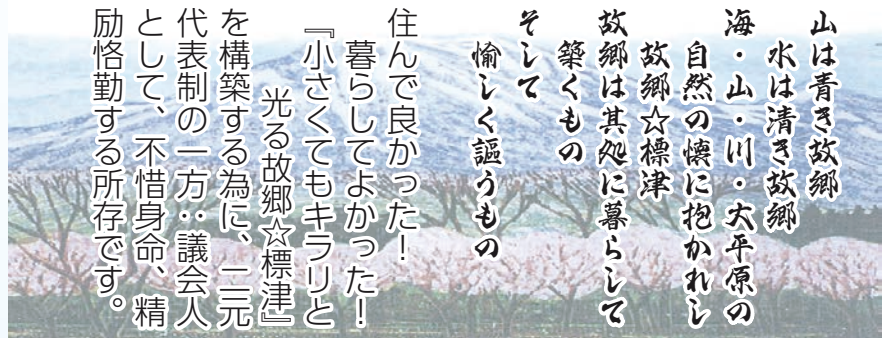
豊かな環境を守り  
地域資源の活用を

・環境を守ることが一  
次産業の資源を守る  
・地域資源・歴史資源  
を観光資源として活  
用



吉田 智 議員  
(4期目)

『小さくてもキラリ  
と光る故郷★標津』  
の構築に精励恪勤



山は青き故郷

水は清き故郷

海・山・川・太平洋の

自然の懐に抱かれし

故郷★標津

故郷は其処に暮らして

築くもの

そして

愉しく謳うもの

住んで良かった！

暮らしてよかった！

『小さくてもキラリと

光る故郷★標津』

を構築する為に、二元

代表制の一方、議会人

として、不惜身命、精

励恪勤する所存です。



石橋 昌幸 議員  
(5期目)

安心して暮らせる  
町づくりの実現を  
目指して!!

私は高齢者や障がい者の方々が、この町に住んで良かったと思える、安全で安心の出来る、そんな町を目指します。

人口減少が標津町の喫緊の課題となっており、今何をすべきかの一つとして、基幹産業(水産、酪農、観光)を地域の宝として、町づくりを進め人口減少対策、移住人口対策に推進できるよう努力します。

災害には一人ひとりが常に心の準備、そして非難の準備が必要です。そして災害に負けない強い町づくりを目指します。



南 憲治 議員  
(4期目)

町・町議会・町民が力を  
合わせた強いまちづく  
りを推進します!

●標津町は一次産業が  
マチの屋台骨。

●標津町の基幹産業である水産業と農業の振興に取り組み、経営基盤の強化を進めて、元氣なまちづくりを推進します。

●議員の職責である「具体的な政策の最終決定と『行財政運営の批判と監視』の達成のため、議会の一員として、一生懸命努力します。

※議員必携

編集◆全国町村議会議長会

発行◆学陽書房

序「地方自治のしくみと議

会の使命」より引用



山崎 英司 議員  
(3期目)

標津を思う  
みんなのために!

私は、3期目も夢と希望のあるまちづくりを目指して努力します。一、町民が安心して暮らしていける生活・経済環境をつくりま

す。  
二、子育て支援の充実・標津高校の存続維持を図ります。

三、高齢者・障がい者の方々への更なる福祉の充実を図ります。以上のことを柱として町民の皆様の声を聞き、実行に向け推し進めて参りたいと思います。

# 4年間の目標・抱負 ～今後4年間の議会人



山崎 陸郎 議員  
(3期目)

**標津町の豊かな自然は産業（農林水産）観光の礎です!!**

- ・ウクライナ紛争以降、肥料・飼料の高騰や乳量制限による危機的状況の酪農業への支援
- ・秋さけ来遊量の復活
- ・子育て支援の充実している町
- ・弱者（高齢者・障がい者）に対して心のかよいあう町
- ・終（つい）の住処（すみか）として安心して暮らせる町
- ・一人は万人の為に万人は一人の為にワンフオールワンオールフオールワン



藤本 靖 議員  
(2期目)

**2期目の町議会へ**

8年間の空白がありますが、今回、2期目の町議会へ復帰する事ができました。8年間の間に人口の減少、産業の減退等、とても難しい問題が増えてしまった気がします。町創りは「人造り」と産業の「基礎造り」の両輪があって初めて可能になります。一次産業が柱の標津町。この両輪が回っていくようにする役割を担っていると考えています。2期目と言いつつ、初めに帰り、この2つの「町造りの基礎」を私の議員活動の柱として行きたいと考えています。



数間 景子 議員  
(1期目)

**豊かな自然の保護と安心して住める町づくりを目指します**

コロナ感染症の経験は、様々な立場の方が今何が大切なのかを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。私は、町民が利用出来る福祉の実現がどうしても必要と考え、次の事を目指します。

- 一、教育環境の拡充
- 一、高齢者への町独自の福祉
- 一、自然の保護と移住者の両立



畑中 浩 議員  
(1期目)

**町民の声を議会に届けます!**

「初心忘るべからず」、町民の代表として町民目線で、選挙戦で掲げた「町民の声を議会に！」をスローガンに、次の6つの政策を基本に進めていきます。

- ①働く人・生活者が主役のまちづくり
- ②学び続けられる「教育」の推進
- ③安心して生活できる「保健・医療・介護・福祉」の充実
- ④災害から命を守る、まちづくり
- ⑤基幹産業の振興
- ⑥開かれた議会の活性化・改革



西山 易男 議員  
(1期目)

**人を遺してこそ**

○人を遺すには仕事（事業）が無いといけません。仕事（事業）を続けるにはお金が無いといけません。これらを網羅する政策を模索していきます。

○私自身3人の子を持つ子育て世代の真ん中、この視点で教育環境の整備や将来の標津を背負って立つ人材の発掘に努めます。

○高齢者の免許返納が多くなってきたいます。車が無くても困らない環境整備の見直しや新たな移動手段を模索していきます。

以上、新人ではございますが、1年1年ステッパアップして参ります。

## 寄稿



### 標津高校では、「生きる力」を育成しています

北海道標津高等学校

校長 渡辺 幹夫  
わたなべ みのる

2020年3月に文部科学省から新学習指導要領が示され、「生きる力」が公示されましたが、本校においても「生きる力」の育成に重きを置いています。国から、「生きる力」の育成が必要であると言われているとおり、今の生徒は、「生きる力」が足りないように思います。これは、本校の生徒だけでなく、全国的な傾向のようです。

本校は、昨年度から地域連携校となり、生徒数も教員数も減少していますが、その反面、生徒一人一人に対して、手厚い指導ができるところが長所です。ここ最近では、地元中学生の進学率があまり良くなり、残念な気持ちになります。中学生から選ばれるような特色のある学校づくりが必

要であると考え、教職員一同、魅力のある学校づくりに努めております。その第一弾として、今年度から、町の多様な支援をいただきながら、7月下旬に、1年生全員による「防災研修」を実施する予定でいます。東北震災の被災地を実際に見て、被災した人の話を聞くことで、「命の大切さ」を実感してもらうことがねらいです。そして、2年生の見学旅行では、沖繩に行き、平和学習をすることで、2年にかけて、「命の尊さ」を学び、その体験を地域に伝えることで、「生きる力」の育成に繋がっていき



本年度、90周年を迎える『郷土の標(しるべ)』【標津高等学校】

たいと考えております。また、特色ある取組として、将来的には、商品開発を考えています。その前段として、町教委に

ご配慮により、今年度は、期間限定による給食メニュー開発を行う予定でおります。地元の食材をふんだんに使ったメニューを生徒達が考え、地元の子供たちに食べていただくことで、生徒達の自信にも繋がります。「生きる力」にも繋がっていかばと考えています。

そして、将来的には、地域の特産物を使った商品開発を生徒達が考案し、企業とタイアップして商品化すること、地域の活性化に繋がっていきたく考えています。地元の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本校は、今年度、90周年を迎える伝統校であり、この標津高校を存続させたいという強い思いがあります。もちろん、教職員全員が同じ気持ちです。

生徒達が標津高校を巣立つときには、自立して、社会に出れば即戦力として貢献できるような人材となるよう育成して参りたいと思います。ので、今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

町民皆様からのご意見などをお寄せ願います。※表紙写真、募集中です。

## 編集室



議会だよりは、議会の日々の活動を伝え、町民とのコミュニケーションを担うのが役割。その上で重要なことは、「町民から読みたくなるような紙面づくり」。

新たなスタッフで、これまでの良い点は継承し、改善すべき点は見直していきますので、よろしく願います。

まずは町民の代表として、町民の声をしっかりと聴きし、議会活動に反映させ、その活動状況を紙面でお伝えできればと考えています。

町民皆様からのご意見などをお寄せ願います。※表紙写真、募集中です。

(畑中 浩)

議長 小川 悠治

広報特別委員会

委員長 畑中 本  
 副委員長 藤

浩 靖

委員 吉田 西  
 委員 山

智 男